

「SMBCグループライジング基金」 2023年度寄付先募集 FAQ

分野	質問	回答
全般		
1	「三井住友銀行ボランティア基金」と「SMBCグループライジング基金」の違いは？	「SMBCグループライジング基金」は「三井住友銀行ボランティア基金」の後継ですが、一昨年度より運営主体を三井住友銀行からグループ会社へと拡充し、選定プロセス、選定基準、運営主体等を変更いたしました。
2	過去の実績について知りたい。	ボランティア基金の実績、およびライジング基金の実績についてはHPに詳細を記載しておりますのでご参照ください。
3	応募にあたって事前相談できるか？	はい、相談いただけます。お問い合わせ先へご連絡ください。
4	SMBCグループのどの部署が担当しているのか？	三井住友フィナンシャルグループ サステナビリティ企画部が担当しています。
応募資格		
1	任意団体も対象となるか？	いいえ、対象となりません。
2	株式会社・合同会社等の営利活動を目的とする団体は対象になるか？	いいえ、対象となりません。
3	今年度設立した法人のため、決算資料等がない。新規の団体でも応募できるか？	いいえ、対象となりません。

4	応募に当たり「想定する団体の規模・実績」の全ての項目に該当することが必須か？	今回の寄付の対象は、社会的インパクト創出という目的のため、事業を遂行するに十分な人的リソースがあり、財務的にも安定している団体を想定しています。これらの規模は団体の実績を図る目安と考えており、申請内容を総合的に判断いたします。
5	想定する団体の年間の予算規模は2億円以下とあるが、2億円以上の規模の団体は対象外となるか、または審査の上で不利となるか。	ご応募いただくことは可能ですが、今回の寄付は、成長期の団体を応援し、またこの寄付金額のインパクトを重視するという趣旨のため、より趣旨に合致した団体の方が審査の上で有利になります。
6	企業からのプロボノやボランティア受入を実施した経験はない。それでも応募できるか？	はい、企業からのプロボノやボランティア受入に意欲がある団体であれば、応募できます。
7	他の機関から助成を受けているが同じ活動事業について申請可能か？	他の自治体や財団等の補助金・寄付金を活用する事業でも応募はできますが、同一の費用を重複して計上することはできません。
8	想定する団体の年間の予算規模は2億円以下とあるが、2億円以上の団体は対象外となるまたは審査の上で不利となるか。	ご応募いただくことは可能ですが、今回の寄付は、成長期の団体を応援し、またこの寄付金額のインパクトを重視するという趣旨のため、より趣旨に合致した団体の方が審査の上で有利になります。

対象事業		
1	寄付金を利用する事業の対象期間は？	1年コースは2024年4月から2025年3月の1年間、3年コースは2024年4月から2027年3月の3年間で す。3年コースの場合は、取り組み内容に応じて寄付金を2年で全て費消しても結構です。最適な期間をご提案ください。ただし、この場合でも助成契約期間は3年間となります。報告義務等は3年目にも発生します。
2	「子ども」の年齢層は、18歳以下を想定しているとあるが、事業が対象とする年齢層がそれ以上を含む場合も申請が可能か？	「子ども」を対象とした事業の場合、事業の主たる対象年齢が18歳以下であり、事業目的が貧困・格差の連鎖解消に取り組むものであれば申請可能です。
3	事業が提供するサービスに対する受益者への利用費補助は対象になるか？	事業を実施するために必要な費目であれば対象です。ただし、事業目的に沿った効果的・効率的な予算となっているかどうかは審査対象となります。
4	既存事業の横展開として、同様な事業を目的とする他団体の立ち上げや活動の立ち上げをサポートする中間支援は対象になるか？	はい、結果的により大きなインパクトにつながるものであれば、対象となります。
5	月額をとるタイプのフリースクールは該当するか？	受益者への課金があることが直ちに対象外というわけではありません。課金の理由、金額の多寡、インパクト創出への意味合いなど総合的に判断します。

6	新しい試み（事業）は対象になるか？	全くの新規の取り組みは対象になりませんが、既存事業の経験を活かした新たな事業の立ち上げは対象となります。ここでの「新たな事業」とは、既存の事業・サービスを新たな受益者に提供する場合も含みます。新しい事業に取り組まれる場合は、応募用紙にて「⑥新規事業の立ち上げ」を選択してください。
7	貧困・格差の解消に資する取組が対象となるとあるが、どのような「格差」が該当するのか？	本寄付事業では、「経済的格差」を想定しています。
8	子どもがいる貧困世帯の支援を実現しているが、対象を必ずしも貧困世帯に絞っていない（所得による制限などはない）事業は対象になるか？	はい、貧困・格差の連鎖の解消を主目的に取り組む事業であれば対象になります。応募用紙にはその点がわかるように記載ください。
9	子どもがいる貧困世帯の支援を実施しているが、教育や挑戦の機会の提供以外の（食事の提供など）予算は対象になるか？	主たる事業目的が教育や挑戦の機会の提供につながるものであれば対象になります。ただし、事業目的を達成するために、合理的なものとなっているかどうかは審査対象となります。

10	直接支援や対象者を絞っている事業のほうにインパクトが出やすいように思うが、間接的もしくは長期的な事業は対象になるのか？	はい、対象となります。 本寄付事業の評価は社会インパクトの拡大です。昨年度においても間接的または中長期的にインパクトが創出される事業も採択されております。
寄付金		
1	1年コースと3年コースのどちらを選べばよい？ ※1年コースと3年コースは併願可能か？	3年コースは、中長期で事業・組織の基盤強化に取り組むための柔軟な資金を提供することを目的に、今年度より設置しました。応募しようとしている取り組みが2～3年に渡る取り組みとなる場合は、3年コースを選択してください。1年コースと3年コースは併願できません。取り組む期間が合理的かどうか審査対象となりますので、事業を実施するのに最適な期間のコースをお選びください。 ※取り組み内容に応じて寄付金を2年で全て費消しても結構です。最適な期間をご提案ください。ただし、この場合でも助成契約期間は3年間となります。報告義務等は3年目にも発生します。

2	3年コースの場合、公募要項「3. 取り組みのテーマ」にある「①支援対象の直接的な増加」への寄付金の充当が認められないのはなぜか。	前述の通り、3年コースは中長期で事業・組織の基盤強化に取り組むための柔軟な資金を提供することが目的のため、寄付金の使途を基盤強化に絞っています。 一方で、1年コースの場合でも、寄付金を活かして既存事業の支援対象や支援内容をより効率的・効果的に広げる工夫があるかどうか審査で重視されます。単に従来から取り組んできた事業について、全く同じ内容に資金を充当することは認められません。
2	寄付応募額の最低額は設けているか？	下限の定めはありません。社会的インパクトを効率的・効果的に達成するために必要な金額をご提案ください
3	採択される団体数は？	1年コースは3~4団体、3年コースは1団体の予定です。
4	寄付金はいつ、どのように支払われるか？	2024年3月下旬に支払を予定しています。採択後にお伺いするご指定の銀行口座にお振り込みします。
5	対象の費用に規定はあるか？	応募事業に従事するスタッフ等の人件費・管理費を含む応募事業の実施に必要な費用全般が対象です。 詳しくは募集要項「4. 対象となる経費」をご覧ください。

6	外部講師や、学生ボランティア、アルバイトに支払う報酬は対象か？	はい。対象になります。 外部の専門家への委託経費、応募事業に従事するスタッフ、アルバイト等の人件費（法定福利費含む）や一般管理費も対象になります。
7	申請事業以外でも共有しているオフィスの家賃・人件費・備品などを按分して計上することは可能か？	はい、一般管理費も按分して計上できます。ただし、応募事業に関わらない要員の人件費や団体運営の費用は対象外です。
8	海外事業の場合、国内の管理費は対象となるか。	はい、海外国内両方の事務所の管理費が対象となります。
9	申請時の予算金額の精度はどのくらいを想定しているか。採択後の変更は認められるか？	基本的には申請時の予算通り執行頂く想定ですが、社会的インパクト創出のために、事業計画と予算計画は、事務局との合意の上でいつでも見直しが可能です。必ず事前にご相談ください。 ※自然災害の発生や事業前提の変化など緊急性の高い場合は、事務局から修正をご提案する場合がございます。 ※3年コース場合は、1年ごとに事業の振り返りを事務局と行います。見直しが必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。
10	予算中の自己負担金の限度はあるか？	いいえ、制限や限度は設けていません。

応募方法		
1	Googleフォームを利用するとあるが、郵送やファクスでも受け付けるか？	いいえ、Googleフォームをご利用ください。
2	提出資料が正しく提出できたか確認できるか？	お問合せ先へご照会ください。
3	応募用紙のページ数に上限や規定はあるか？	以下のページ数に収まるように作成してください。 1年コース：全体で7ページ以内 3年コース：全体で9ページ以内
4	他の機関から助成金を受けている場合、申請書に記載すべきか？	応募用紙の該当欄に記載してください。
選考		
1	選考プロセスについて知りたい。	一次選考として書類審査、二次選考として審査会でのプレゼンテーションと質疑応答及び役職員による投票が実施されます。
2	早く応募すれば、早く審査結果が分かるか？	いいえ。 応募締め切りまでに集まった申請書をまとめて審査しますので、早くご応募いただいても、審査結果は早くなりません。
3	実績が少額な事業はマイナスと見られるか？	金額の多寡よりも、これからの社会的インパクトの創出がポイントとなります。

4	審査結果の理由は教えてもらえるか？	審査結果、採択の可否に関わらずお問い合わせには応じかねますので、予めご了承ください。
5	二次選考の審査会はいつ開催されるのか？	2024年1月下旬～2月中旬を予定しています。一次選考を通過した際にお知らせします。
6	審査会のプレゼンテーションは対面開催かオンラインか？	新型コロナウイルスの感染防止の観点から、選考は原則書面及びオンラインで実施予定です。
7	プレゼンテーションの所要時間は？	詳細は一次選考通過後にご連絡いたします。
選定後		
1	寄付金交付に当たって契約を締結するのか？	契約書の締結は致しませんが、所定の書類のご提出をお願いします。
2	採択された団体は、寄付金の受入の際に、損金算入可能となる「領収書」を発行する必要があるか？	はい、領収書の提出をお願いします。
3	事業計画や費用の使途の変更の必要性が生じた場合、相談に応じるか？	生じる可能性がある場合は、事務局窓口にお早めにご相談ください。

4	寄付決定後の報告の頻度や提出資料を知りたい。	期間終了後の成果報告書提出に加え報告会等にご参加いただく予定です。詳細は採択後にお知らせします。また、期間中1～2回程度、SMBCグループ従業員に向けた事業の現状報告等の情報発信を行って頂く場合があります。
5	成果報告書において、証憑類の提出はあるか？	いいえ、証憑類の提出は必要ありません。ただし、何か問題が生じた場合は、事務局が証憑や帳票を確認する可能性があります。
6	3年コースのSMBCによるプロボノのサポートは、初年度から実施必須なのか？	3年コースの場合、その期間を通じて双方が理解を深めていけることも期待されます。その一環としてのプロボノ支援であり、助成先団体のニーズと、プロボノ参加者の専門性等のマッチングを重視し、適切な支援を話し合いながら設計し実施していくことを想定しています。実施の際に団体側のリクエストは重視しますが、全ての団体の希望にそのまま添えるものではない旨は、予めご了承ください。
スケジュール		
1	募集締め切りはいつか？	2023年11月24日（金）15時までにGoole フォームにアップロードを完了してください。
2	一次選考（書類審査）の結果通知はいつ貰えるか？	2024年1月中上旬に応募者全員にお知らせします。

3	二次選考（審査会等）はいつ実施されるのか？	2024年2月上旬～下旬を予定しています。一次選考を通過した際にお知らせします。
4	採択の結果通知はいつ貰えるか？	2024年3月上旬までに一次選考通過全員にお知らせします。